

令和 6 年度 第2回 大阪市立栄小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立栄小学校

校 園 長 名 岸本 昌悟

日 時		令和6年 11 月 7 日（木） 18 時～19 時 10 分（1 時間 10 分）				
場 所		大阪市立栄小学校 1 階 生涯学習室				
出席者	委員 など	浅田正仁(会長) 中田正孝(委員) 北口武司(委員) 谷口英代(委員) 瀬川晴美(委員) 福田奈奈(委員) 萬代加代子(委員)				
	校 園	岸本昌悟(校長) 村松勇介(教頭) 加藤基寛(人権教育部長) 山本大斗(教務主任)				
	区役所	濱田俊通(課長)				
議 題		(1) 令和6年度 全国学力学習状況調査の結果について (2) 令和6年度 運営に関する計画 中間評価について (子どもアンケートの結果を含む) (3) その他 ・ 標準服指定店の表記の変更および今後の取扱いについて				
協 議 要 旨		協議の結果		意見の概要		
		(1)	全国学力・学習状況調査における協議の結果は、次のとおりである。 ・ 国語、算数ともに正答率の分布が二極化している。 ・ 無回答率の割合が全国平均に比べて高い。 ・ 児童質問調査については、自己肯定感に関わる項目に肯定的に回答した児童の割合が、全国平均より下回っている。	○国語では、自分の考えを記述する問題で、無回答率が全国平均の2倍近くに達している状況があった。また、算数でも教科書や学習ドリルに掲載されないタイプの問題で、無回答率が高かった。 ○自己肯定感に関する項目の結果が思わしくないことについては、日本の経済状況が影響していることもあるのではないかと。学校では「子どもたちがほめてほしい点を見極めて褒めることができるようになるよう」と言い合い、自己肯定感が高まるようにしている。		
		(2)	運営に関する計画について、数値目標を掲げている項目に関して、目標を上回っている項目と下回っている項目に状況が分かれていた。	○毎朝の登校時に、子どもたちが地域の方々に対してきちんとあいさつができています。ICT に関しては、1人1台端末の利用率を高める取組を行っている。心の天気で曇りや雨が続く子どもたちには、個別に声かけをするようにしている。		
		(3)	LGBTQの観点から、標準服指定店の案内について表記を変更した。価格は上着が高額に設定されていることから、低価格化に向けて働きかけていく。	○標準服に関して、発達障がいの子どものも増えている。その際にボタン付きのシャツを着せるのは子ども本人も学校側も大変なので、ポロシャツ等の着用を啓発してほしい。		
協 議 資 料		○ 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ○ 令和6年度「運営に関する計画」中間評価 ○ 令和6年度 子どもアンケート中間集計 ○ 標準服指定店の案内用紙				
備 考		傍聴者[0]名				